

奄美大島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

漁業者・漁業従事者委員

1 個人推薦
なし

2 団体推薦
以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条 第5項に定める 漁業者又は漁業 従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
						従事 年数	主な漁業種 類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
1	まえだ けいいち 前田 啓一	69	男性	漁業	昭和48年3月 鹿児島実業高等学校卒業 昭和60年1月～昭和63年3月 (有)宇検養魚従事（漁場長） 昭和63年4月～平成18年5月 (有)枝手久水産代表取締役 平成18年6月～平成26年5月 (株)枝手久物産代表取締役 平成3年2月～現在 宇検村漁業協同組合理事 平成9年2月～平成12年12月 宇検村漁業協同組合代表理事組合長 平成12年9月～平成24年9月 宇検村議会議長 平成20年2月～平成24年9月 宇検村議会議長 平成26年6月～現在 前田鮮魚代表 令和3年4月～現在 奄美大島海区漁業調整委員会委員	39	一本釣り漁 業 釣り筏経営	○	宇検村漁業 協同組合	代表理事組合長 前田 尚登	<ul style="list-style-type: none"> 区画漁業権の管理 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 組合員の漁業に資する購買品、氷の供給 組合員の漁獲物等の運搬、保管、販売 など 	正組員 49名 准組員 89名 計 131名	【正組員資格】 この組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	昭和60年より魚類養殖業に従事し、以降様々な魚種の養殖や小型定置網漁業など多種にわたる漁業を経営する傍ら、宇検村漁業協同組合の代表理事組合長や理事、宇検村議会議長などを長年にわたり勤め、地域漁業者の中心的な存在として活躍している。 近年は、釣筏の経営を通して観光面での水産業のPRや、魚の捌き方教室などの食育普及活動にも積極的に取り組むなど浜の活性化にも大きく貢献している。 また、多面的な漁業経験から得た漁業に関する豊富な知識から地元漁業者からの信頼も厚い。 本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解しており、引き続き地域漁業の発展に向けて活動することに高い意欲を持っていることから推薦に至った。	
2	あたま みちお 阿多 美智雄	64	男性	漁業	昭和54年3月 与論高等学校卒業 昭和55年5月～昭和60年4月 共同花園 昭和60年5月～平成2年3月 ダイヤル工業 平成2年4月～ 東洋通信 平成7年5月～ 綿郷後父の漁業の手伝い等 平成13年6月～ 与論町漁協組合員加入（独立） 平成21年6月～平成24年6月 与論町漁協理事 平成27年6月～平成30年6月 与論町漁協理事 平成28年8月～令和3年3月 奄美大島海区漁業調整委員会委員 平成30年6月～令和3年6月 与論町漁協代表理事組合長	23	ソデイカ旗 流漁業	○	与論町漁業 協同組合	代表理事組合長 鬼塚 直俊	<ul style="list-style-type: none"> 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 組合員の漁獲物等の運搬、保管、販売 など 	正組員 59名 准組員 200名 計 259名	【正組員資格】 この組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成13年より魚類養殖業に従事し、与論町漁協青年部長や漁協理事及び代表理事組合長を務めるとともに、平成29年4月から4年間、奄美大島海区漁業調整委員会委員を務めるなど、地域漁業の振興に貢献されている。 特に、ソデイカ旗流し漁業に関しては、沖縄海区の漁業者ともつながりがあり、あらゆる場面で意見交換などを進め、ソデイカ漁業の発展に貢献されている。 本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解されており、奄美海区の漁業発展に向けて活動できる人材であり、最適任者である。	

番号	推薦を受けた者（被推薦者）								推薦した者（推薦者）						
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
3	しげの 茂野 たくま 拓真	67	男性	漁業	昭和55年3月 昭和57年4月 平成2年3月 平成元年4月～平成4年3月 昭和61年8月～平成14年7月 平成14年8月～現在 平成18年12月20日～現在 平成6年4月～平成10年4月 平成6年5月～平成24年 平成24年8月～現在 平成12年8月～現在 平成24年8月～現在 令和6年7月～現在	創価大学経営学部卒業 魚類養殖業を起業 有限会社茂野水産を設立 瀬戸内漁業協同組合青年部長 鹿児島県青年漁業士 鹿児島県指導漁業士 茂野水産改め、株式会社平祐を設立、代表取締役社長 養殖業と兼業で稼業のカツオ漁船平祐丸を経営 瀬戸内漁業協同組合理事 瀬戸内漁業協同組合代表理事組合長 奄美大島海区漁業調整委員会委員 奄美大島海区漁業調整委員会会長 奄美群島水産振興協議会会長	42	魚類養殖業	○	瀬戸内漁業協同組合 代表理事組合長 茂野 拓真	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること ・ 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・ 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・ 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売 など	正組合員115名 准組合員103名 計 218名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか 地元漁業者からの信頼は厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、適任である。	被推薦者は、昭和57年より魚類養殖業に従事し、瀬戸内漁業協同組合の青年部活動や地区漁業士会活動に励み、瀬戸内漁業協同組合代表理事組合長を務めるなど、地域漁業者の中心的存在として長年活躍をしている。漁業経営に関し豊富な知識と経験を有している。 地元漁業者からの信頼は厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから適任である。	
					鹿児島県漁業士会 会長 川畑 興文	鹿児島県漁業者の中核として資質の向上を図る。 漁業後継者の育成指導、研修及び講習会の開催等	青年漁業士19名 指導漁業士54名 計 73名	鹿児島県が認定している指導漁業士、青年漁業士	被推薦者は、昭和57年より魚類養殖業に従事し、瀬戸内漁業協同組合の青年部活動や地区漁業士会活動に励み、瀬戸内漁業協同組合代表理事組合長、奄美群島水産振興協議会会長を務めるなど、地域漁業者の中心的存在として長年活躍をしている。また、漁業経営に関し豊富な知識と経験を有しており、誠実な人柄を含め、地元漁業者からの信頼は厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから適任である。						
4	おくだ ただひる 奥田 忠廣	79	男性	漁業	昭和35年3月 昭和38年3月 昭和40年3月 昭和51年5月～現在 平成10年6月 平成17年12月～令和6年6月 平成20年8月～現在※ 平成25年10月～令和6年7月	大和村立名音中学校卒業 陸上自衛隊入隊 同上 除隊 大和村議会議員当選 大和村漁業協同組合代表理事組合長 奄美漁業協同組合筆頭理事 奄美大島海区漁業調整委員会委員 奄美群島水産振興協議会会長	50	一本釣り漁業	○	名瀬漁業協同組合 代表理事組合長 満林 春男	組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能力を上げ、組合員の所得向上、社会的地位を高めること ・ 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・ 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・ 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売 ・ 漁場の利用に関する事業 など	正組合員 72名 准組合員463名 計 535名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	漁業を起業後、平成10年に大和村漁業協同組合代表理事組合長に就任後、平成17年の奄美漁業協同組合併時には筆頭理事に立ち、リーダーシップを発揮してこられた。 また、長く奄美群島水産振興協議会会長も努められ、奄美群島全体の漁業発展にも津使ってきた知識やその知見から多大な貢献をされてこられ、海区漁業調整委員会としても、長きにわたり活動してきた職務経験、実績もあり、その職責を理解の上、全うすることに疑いはないと感じ、今後の奄美群島の水産における地域活性においても貢献されると感じることから推薦に至った。	
					喜界島漁業協同組合 代表理事組合長 松元 秀雄	組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能力を上げ、組合員の所得向上、社会的地位を高めること ・ 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・ 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・ 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売 など	正組合員 52名 准組合員101名 計 153名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか 長年、奄美漁業協同組合の理事や、奄美群島水産振興協議会会長を務めており、奄美地域における水産、漁業に対しての知識と経験、理解が大きく群島全体の中心的人物として活躍してこられた。 地元のみならず、群島全体からの信頼も厚く、奄美海区においても重要な存在である。本人の意欲も高く、今後の地域漁業の発展の為に尽力をつくしていける人物であることから適任である。							

番号	推薦を受けた者(被推薦者)								推薦した者(推薦者)							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
5	おだま 尾崎 康二郎	57	男性	漁業	昭和63年3月～平成4年3月 平成4年3月～平成13年8月 平成13年9月～現在 平成13年9月～現在 平成21年6月～平成24年6月 平成24年6月～平成28年6月 平成28年8月～令和4年6月 令和4年6月～現在	京都教育大学教育学部特修体学科 (株)大阪有線放送社勤務 追込み網漁業従事 第1種ほこ突き漁業 資格審査委員 資格審査委員長 瀬戸内漁業協同組合監事 瀬戸内漁業協同組合代表監事	23	追込み網漁業 ほこ突き漁業	○	瀬戸内漁業協同組合	代表理事組合長 茂野 拓貴	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売	正組合員115名 准組合員103名 計 218名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成13年より漁船漁業(追込み網漁業)に従事し、瀬戸内漁業協同組合の青年部活動や地区活動、魚食普及活動等に励み、瀬戸内漁業協同組合代表監事を務めるなど、地域漁業者の中心的存在として長年活躍をしてくる、水産業及び漁業に関し豊富な知識と経験を有している。資源保護や資源管理についても積極的に行動を起こし、持続可能な漁業を訴え続けている。地元漁業者、職員からの信頼は厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、適任である。
6	たけやま 竹山 昌治	63	男性	漁業	昭和54年3月 令和元年7月 令和3年6月～令和6年6月 令和6年6月～現在	県立大島北高等学校卒業 奄美漁業協同組合出荷協議会会長 奄美漁業協同組合理事 奄美漁業協同組合監事	40	一本釣り漁業	○	奄美漁業協同組合	代表理事組合長 終田 謙夫	組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能力を上げ、組合員の所得向上、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売	正組合員162名 准組合員936名 計 1,098名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	昭和58年から笠利町漁業協同組合員として、漁業に従事し、潜水器漁業、一本釣り漁業を通して地域漁業のリーダー的存在として長年貢献している。平成17年奄美漁業協同組合合併の際には、4漁協(笠利、龍郷、大和、住用)の合併で設立に貢献した。令和3年より奄美漁業協同組合理事として令和6年から監事として奄美漁業協同組合の経営に携わり、出荷協議会会長として鮮度保持、衛生管理と積極的に勉強指導し奄美漁業協同組合の漁業者のまとめ役として今後の地域漁業の発展に向け高い意欲を持っていることから適任である。
7	やました 山下 安富	62	男性	漁業	昭和52年3月 昭和53年3月 昭和54年3月 昭和59年9月 平成26年6月～現在 令和3年4月～	和泊町立和泊中学校卒業 県立吹上職業訓練校卒業 東京都富士精工入社 東京都富士精工退社 東京都岩間鋼材入社 東京都岩間鋼材退社 東京都金井製作所入社 東京都金井製作所退社 沖永良部島で漁業に従事 沖永良部島漁業協同組合青年部長等歴任 沖永良部島漁業協同組合副組合長 奄美大島海区漁業調整委員会委員	40	マグロ漁業 ソデイカ漁業	○	沖永良部島漁業協同組合	代表理事組合長 中田 陸洋	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売	正組合員 35名 准組合員241名 計 276名	【正組合員資格】 この組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	網元を行っていた父の影響を受け22歳より漁業を始める。その後父が早逝したため、網元を引き継ぎ追込み漁を行うが、潜水病にかかり漁船漁業に切り替える。マグロ、ソデイカ漁を中心に沖永良部地区の中核的漁業者となり青年部長などを歴任。平成17年に離島再生支援交付金事業によるえらぶ漁業集落ができてからは会長などを歴任する。平成26年からは沖永良部漁業協同組合の副組合長として尽力している。素潜り、追い込み漁、潜水器漁業や遠流し、一本釣り漁業など様々な漁業に従事してきたため、各種漁法に精通している。各役割を通じて漁業などを含む知見を広げており、親の出身地である与論島をはじめとして、徳之島、奄美大島、喜界島の各島々にも交流を広く持っているため、沖永良部のことだけでなく奄美全体のために活動してもらえと思い推薦する。

※ 県水産振興課による参考追記

3 応募
なし

奄美大島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

学識経験委員

1 個人推薦

なし

2 団体推薦

以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）					推薦した者（推薦者）					推薦理由		
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	資源管理及び漁業経営に関する学識経験	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格	構成員			
								目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
1	とりにい たかし 鳥居 享司	50	男性		平成4年4月～平成8年3月 鹿児島大学水産学部 平成8年4月～平成10年3月 鹿児島大学水産学部水産学研究科 平成10年4月～平成13年3月 広島大学大学院生物圏科学研究科 平成16年4月～平成19年3月 近畿大学COE博士研究員 平成19年4月～現在 鹿児島大学水産学部准教授 平成24年8月～現在※	鹿児島大学水産学部 鹿児島大学水産学部水産学研究科 広島大学大学院生物圏科学研究科 近畿大学COE博士研究員 鹿児島大学水産学部准教授 奄美大島海区漁業調整委員会委員	鹿児島大学水産学部において、島嶼域を中心に漁業経営の持続性確保に向けた教育・研究活動に従事している。 また、全漁連などの主催する資源管理委員会に委員として参加し、鹿児島県はもとより全国各地の資源管理の取組について研究を行っている。	鹿児島大学水産学部	学部長 西 隆一郎	水産に係わる学術研究、地域活性化、大学教育の機会均等	水産に係わる教育・研究・社会貢献の推進	教員45人	鳥居享司氏は、漁業権や漁業調整規則について深く理解しており、知事の諮問等に対し、学識経験を活かした的確な意見を提供可能である。 また、水産動植物の採捕制限に関する指示等が、関係する各種漁業経営に対してどのような短期的及び長期的影響をもたらすかを踏まえた上で、意欲的に委員会での審議を行うことが出来る。それに加えて、漁業経営に関してこれまで新たな知見を数多く見いだしており、各種学会等で報告している。このように職務内容の理解及び意欲と、漁業に関する知識及び知見に優れていることから、奄美大島海区漁業調整委員会の学識経験委員候補者に推薦する。

※ 県水産振興課による参考追記

3 応募

以下のとおり

番号	応募した者（応募者）					資源管理及び漁業経営に関する学識経験	応募理由
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		
1	やなぎはら しげおみ 柳原 重臣	70	男性	会社員	昭和48年3月 鹿児島県立大島高等学校卒業 昭和55年3月 九州大学農学部水産学科卒業 昭和55年6月 鹿児島県庁入庁 昭和56年4月～平成3年3月 奄美水産業改良普及所、林務水産課、水産振興課 平成3年4月～平成6年3月 水産庁開発課 平成6年4月～平成15年3月 漁業調整係、漁業監理係長、漁業調整係長ほか 平成15年4月～平成23年3月 水試生物部長、食推課主幹、水産振興課技補 平成19年4月～平成26年3月 水産流通対策監、水産振興課長 平成26年4月～平成27年3月 水産技術開発センター所長 平成27年3月 鹿児島県庁退職 平成27年6月～平成30年6月 公益財団法人かごしま豊かな海づくり協会専務理事 平成30年6月～現在 日本漁場システム(株)鹿児島事務所長 令和3年4月～現在 鹿児島海区漁業調整委員会委員	鹿児島県職員として35年余り勤務する期間、水産職員として一貫して水産振興業務に従事した。この間、県内の漁業・養殖業の現状や課題、対策に直接携わり、政策的に重要な資源管理や漁業経営対策に実践的な経験を積んだ。 また、令和2年4月には鹿児島海区漁業調整委員会委員に任命され、委員会業務に携わる。	県在職中は特に漁業調整係と漁業監理係の平成6年度からの7年間は、慣行的な漁業を踏襲し変遷してきた戦後漁業法に基づく漁獲努力量（入口）規制たる漁業の免許や許可・漁業調整に実務的に携わるほか、国連海洋法条約に基づく漁獲量（出口）規制たるTAC制度の本県への導入に直接関わった。 平成30年12月に水産資源の持続的利用の確保のため出口規制を中核に組み込んだ改正漁業法が成立・公布したが、令和3年4月からは同法に基づく最初の鹿児島海区漁業調整委員会委員の一人として、資源管理や漁業調整等に携わり制度の適正な運用や定着化に努めた。 引き続き漁業生産に関する新たな基本的制度に基づく本県の漁業秩序づくりに尽力すべく、設立初期の奄美群島水産振興協議会（当時の会長：吉野清勇）との連携の下、漁業・養殖業の振興に取り組んだことや大中小型まき網漁業との紛争調整に関わった経験等を踏まえ、奄美大島海区に応募した。

奄美大島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

中立委員

1 個人推薦

なし

2 団体推薦

以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者（推薦者）						
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	海区漁業調整委員会 の所掌に属する事項 に関し利害関係 を有しない	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
									目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
1	もとやま あきら 元山 公知	54	男性	宇検 村長	平成元年3月 県立大島高等学校卒業 平成3年4月 ストアータヨ 平成4年9月 (株)トーイン 平成9年9月 ストアータヨ 平成12年1月 自営業アイ物産 平成15年4月 自営業こさぶ物産 平成16年8月 宇検村議会議員初当選 平成24年9月 宇検村議会議長就任 平成26年6月 宇検村議会議長退任 平成30年12月 宇検村議会議員辞職 平成31年1月 宇検村長当選 令和元年7月 奄美大島海区漁業調整委員会委員	○	大島郡 町村会	会長 高岡 秀規	町村政の円滑な運営と地方自治の振興発展を図ること	町村の事務及び町村長の権限に属する事務の連絡調整 ・ 地方自治の振興発展に関する調査研究及び視察 ・ 地方自治行政に 関して政府及びその他財政、経済、行政に関する陳情並びにその交渉 ・ その他本会の目的達成に必要な事項	12名	奄美群島市町村長	平成16年8月から平成30年12月まで村議会議員、平成31年1月からは宇検村長を務められ、地方自治に精通し、現在奄美大島海区漁業調整委員会委員も務めており、同委員会の職務内容を十分理解している。 また、車エビ、マグロ、真珠等の養殖業が盛んな宇検村で漁業に対する理解も深く、漁業と一般公益との調整を図るに適任である。
2	ちくちしん みつこ 築地新 光子	50	女性	団体 職員	平成4年3月 県立出水高等学校卒業 平成8年3月 鹿児島大学理学部生物学科卒業 平成8年9月 鹿児島大学大学院理学研究科生物学専攻中退 平成8年10月 (財)鹿児島市水族館公社（現（公財）鹿児島市水族館公社）入社 展示課展示第一係（現魚類展示係）に配属 展示課海獣展示係に異動 展示課魚類展示係に異動 奄美大島海区漁業調整委員会委員に就任 展示課主任に昇任 現在に至る	○	（公財） 鹿児島市 水族館公社	理事長 下鶴 隆央	水族に関する知識の普及啓発、水族の保護及び教育文化の振興	水族に関する知識の普及啓発を図るための事業、研究、広報宣伝、レクリエーション事業、水族館の管理運営など	70名	【構成員の内訳】 常勤理事、正規職員（事務）、正規職員（飼育） ほか	築地新光子氏は大学で環境生物学を修め、学芸員資格を取得しています。当会社において28年間、海産類から無脊椎動物、魚類、海獣類など多岐にわたる生物の飼育を担当し、水族に関する知識の普及啓発を行う展示業務や鹿児島県各海域での生態調査、研究などにも従事し、刺胞動物をはじめとする幅広い水族に関する生態及び生息環境などについて学識を有しています。フィールドでの業務を遂行するに当たり、地域の様々な漁業や規則等にも精通しております。これらの関わりから豊かな地元の海の総合的な利用や漁業の安定化や生産力の発展に関わりたいとの意欲と見識を有している。 また、平成28年からは奄美大島海区漁業調整委員会委員としての職務にも従事している。 以上のことから奄美大島海区の漁業調整委員会委員に推薦するもの。

3 応募

なし